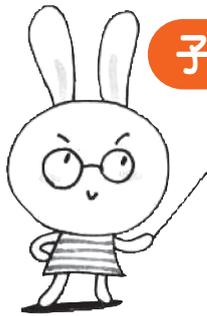


子ども・子育て 新システムで

保育がピンチ!



子ども・子育て新システムってなに?

子ども・子育て新システムとは、幼稚園と保育園を一体化するなど、主に幼児期の子ども関連の国の施策や補助金を一元化するためとして政府が提起した「制度」改革案です。2011年の通常国会に法案を提出し、2013年から新制度を本格施行するとしています。

しかし、新制度に関わる政府提案は二転三転しており、その改革に必要な財源の当てもないことから、保護者や保育園・幼稚園関係者に大きな不安が広がっています。

保育園、選べるはずが...



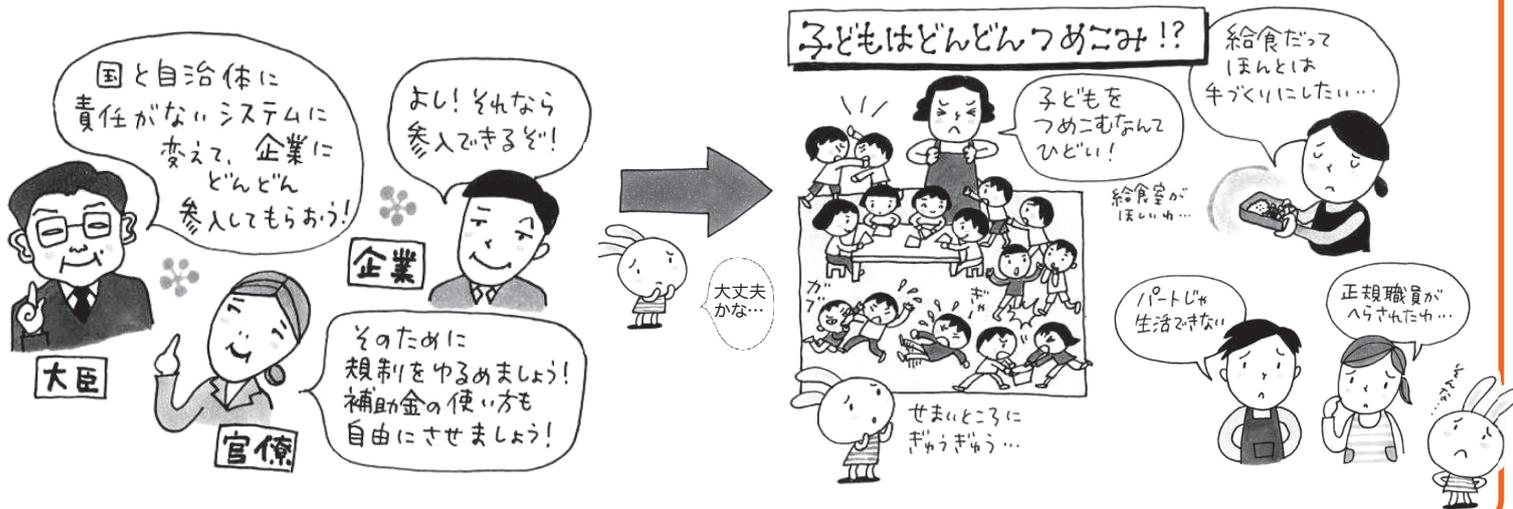
保育園入れたところで負担増!?



幼稚園と保育園、無理矢理くっつけ、こども園!?



お金をかけずに、規制緩和で子どもにしわ寄せ!?



すべての子どもたちが豊かに育つために



その1

保育・子育ての充実は国と自治体の責任で!

子どもの成長・発達には社会に大きな利益をもたらします。どんな地域・どんな家庭に生まれても、子どもたちがすこやかに育つ権利が等しく保障されるためには、国や自治体が責任を持って保育所・幼稚園・学童保育の条件整備や保育内容の充実をはかる必要があります。



その2

認可保育所を増やして待機児童の解消を!

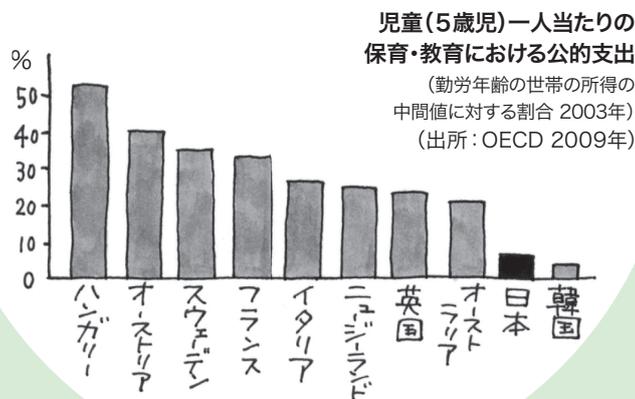
1998年から2007年の10年間で、入所児童数は約20%も増えたのに、保育所はたったの2%しか増えていません。待機児童解消のためにも、国・自治体が責任をもって予算をつけ、質の高い認可保育所を増やしましょう!



その3

子どものための予算を増やして!

日本の保育に関わる公費支出は、世界的にみても最低の水準です。保育所・幼稚園、子育て支援施設等の活動を保障するために、国・自治体の予算と施策を充実させましょう!



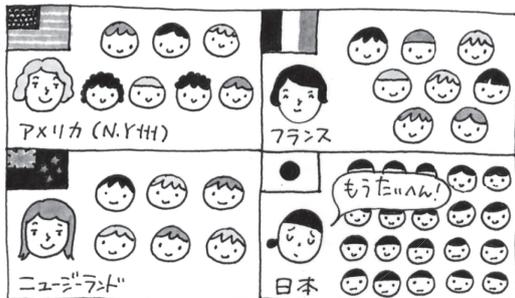
その4

子どもを守る基準の引き上げを!

保育所の最低基準は、世界的にみても低水準です。これを引き上げて保育環境の向上を図るべきなのですが、民主党政権は、地域主権の名のもとに、自治体の判断で自由に基準の引き下げができるようにしようとしています。

子どもに地域格差のない保育が保障されるよう、国としての基準を守り、抜本的に改善させましょう!

職員配置基準の国際比較
(3歳児の場合)



署名にご協力ください!!

私たちは、保育を市場化し、国と自治体の責任を後退させる「子ども・子育て新システム」ではなく、子どもに関わる予算を増やして国と自治体の責任による待機児童解消、保育所・幼稚園・学童保育・子育て支援施策の拡充を求め、国会請願署名をすすめてきました。



いま「新システムではなく国民のねがいに応える保育制度を」という国民世論が広がる一方で、政府は疑問の多い「新システム」を、無理矢理国会に提案しようとしています。私たちはこれを許さない国民の声を束ねようと、新たな署名にとりこんでいます。

子どもを守り、よりよい保育を求める署名に多くの方のご協力をおねがいします。

あなたの1筆が子どもを救う!



保育制度の解体を許さず保育の公的保障の拡充を求める大運動実行委員会 (略称:よりよい保育を! 実行委員会)

連絡先

全国保育団体連絡会 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 3-36-20
TEL:03(3339)3901 FAX:03(3310)2535

●<http://www.hoiku-zenhoren.org/>

